

令和7年度 学校評価アンケート結果について

春日井市立柏原小学校

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。先日ご回答いただきました学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、児童・保護者・教職員の三者の視点から分析した現状と、来年度に向けた改善の方向性についてご報告いたします。

1. アンケートの概要

- 児童(学校生活アンケート): 607名回答
- 保護者: 307名回答
- 教職員: 32名回答

2. 主要項目の分析結果

① 学校生活の楽しさと人間関係

- 現状: 児童の92.4%（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）が「学校は楽しい」と回答しており、保護者の皆様の視点でも94.8%がお子さんは楽しく過ごしていると感じていらっしゃいます。また、友達関係についても三者ともに極めて高い肯定率を示しています。
- 課題: 児童の「すすんであいさつをしている」という項目は肯定回答が51.9%にとどまり、保護者（64.8%）や教職員（96.9%の取り組み意識）との間にギャップが見られます。

② 学習指導とICTの活用

- 現状: クロームブックの活用については、児童の95.2%が活用していると実感しており、教職員も活用を推進しています。5・6年生の教科担任制についても、児童・保護者・教職員から高い評価を得ています。
- 課題: 「授業の終わりの振り返り」について、児童の肯定回答は46.3%に留まっており、主体的な学びの定着にはさらなる工夫が必要です。

③ 学校のきまりと安全

- **現状:** 登下校の安全や交通ルールについては、児童の 94.1%、保護者の 94.1%が肯定的に捉えており、高い安全意識が保たれています。
- **課題:** 「廊下を歩く」などの学校のきまりの遵守については、児童の肯定回答が 52.4%（「そう思わない」が 44.2%）と低く、教職員の指導意識（96.9%）と実態に乖離が見られます。

3. 来年度に向けた改善の方向性

アンケート結果を踏まえ、来年度は以下の 3 点を重点的に改善してまいります。

1. **「あいさつ」と「きまり」の意識向上** 教職員が指導するだけでなく、児童が自発的に「気持ちの良いあいさつ」や「安全な校内生活（廊下歩行など）」の大切さを理解し、実践できるような場を設けます。ご家庭でも、朝の挨拶や公共の場でのルールについて定期的にお声がけいただけますと幸いです。
2. **「振り返り」を重視した授業改善** 児童が「何を学んだか」を実感できるよう、授業の終末における「振り返り」の時間を充実させます。自分の学習状況を把握し、次の学習に繋げる力を養います。
3. **相談しやすい体制の継続と強化** 児童の「困った時の相談相手」として、先生と話す機会を大切にします。保護者の皆様との連携も、引き続き「きめ細かな連絡」を心がけ、学校と家庭で共にお子さんを支える体制を堅持します。

今回の結果を真摯に受け止め、来年度も「子どもたちが安心して楽しく学べる学校」づくりに邁進してまいります。引き続きのご支援をお願い申し上げます。